

2010旭川源流の碑 旦土(だんど)川へ建立

日時 平成22年11月13日(土)～11月14日(日)

場所 真庭市旦土

概要

旭川水系の流域の皆さんが、その地域の美しい川と自然を守る「川守(かわもり)」活動の象徴として平成9年から建立されている源流の碑(旭川流域ネットワーク主催)。14年目となる今年の建立地は真庭市(旧落合町)旦土(だんど)川です。

建立前日には上流・中流・下流の各流域の方々が集まり活動報告などを行う流域交流シンポジウムが開催され、井手真庭市長も参加されました。パネルディスカッションでは西澤岡山河川事務所長も参加し、各流域の皆さんと意見を交わしました。建立当日は、地元の津田小学校児童が源流の碑を乗せたリアカーを約4km引っ張って運び、多くの方の笑顔に囲まれながら碑が建立され、北は蒜山から南は河口まで流域をぐるりと一周する約400km、8ヶ月間のリアカーの旅が終わりました。

また、シンポジウム後には来年の建立地を新庄村の野土路(のとり)川とする事が満場一致で決定し、笹野新庄村長に源流の碑の通行手形が引き継がれました。新庄村では来年「全国源流サミット」も開催される予定です。

活動写真



流域交流シンポジウムパネルディスカッション



リアカーを引っ張る子どもたち



建立後、笑顔での記念撮影